

東由利町報

No. 207 昭和49年(1974)4月1日

発行 秋田県東由利町役場 印刷 K K本間印刷所
毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

町の人口と世帯

人口総数	8,854
うち男	3,348
うち女	3,508
世帯数	1,545

○自治省告示第四十三号
村を町とする処分

地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第八條第三項の規定により秋田県由利郡東由利村を東由利町とする旨、秋田県知事から届出があった。

右の処分は、昭和四十九年四月一日からその効力を生ずるものとする
昭和四十九年三月八日
自治大臣 町村金五



小松町長

町制施行にあたって

東由利町長 小松栄男

春光麗かな折、皆様には益々御清祥の趣とお喜び申し上げます。

懸案の町制が、県御当局をはじめ各方面の御厚情に依って、いよいよ本日、四月一日を以って施行になりました。

ここに本町の過去を顧み、将来を展望致したいと思っております。

昭和三十年七月二十三日

両村合併により東由利村が誕生して早くも二十年目を迎えました。

最近におきましては、振興の指定をうけ、計画的に自治の伸長と地域の発展を計りて参りました。

その結果、道路・橋梁の新たな行政も軌道にのりまして、設改良は一段と飛躍し、中学校の統廃合、農業協同組合の合併、県代行事業による大規模林道・基幹農道・町道の開設や改良の実施、また林業構造改善事業による一般林道の開設等、行政の躍進をみて参りました。

設および入会林野の近代化等めまぐるしい行政に対応して効果をあげてまいりました。

しかし一面では、過疎による人口減、また昭和四十五年以来の米の減反政策、出かせぎに頼らざるを得ない農家経営等は並々ならぬことであります。

住民参加の町政を

小松 与徳雄

幸いにして、由利郡の東部に位置し、出羽丘陵地帯の一環にある東由利町は、豊かな自然に恵まれ、出羽丘陵開発や鳥海北麓開発と関連した開発の可能性を秘め、加えて進取の意欲に燃える質実な住民の気風があります。

中味を問題に

阿部 幸悦

今後も宜しくお願い申し上げます。

住民参加の町政を

長谷山 二郎

町へ変ることとは表面的には喜ばしいことではあるが、中味を問題にしなければならぬ。

住民と共に

藤原 虎之助

単に町制施行を喜ぶばかりでなく、人として、この地をいかに繁栄させて行くべきかを真剣に考えなければならぬ使命をあらためて痛感させられる。

町制施行に当たって

小松 豊

四月一日からいよいよ町制の第一歩を踏み出すに当たり、

謙虚に過去を反省

高橋 俊一

四月一日、日頃町制が施行されたことを、

住民参加の町政を

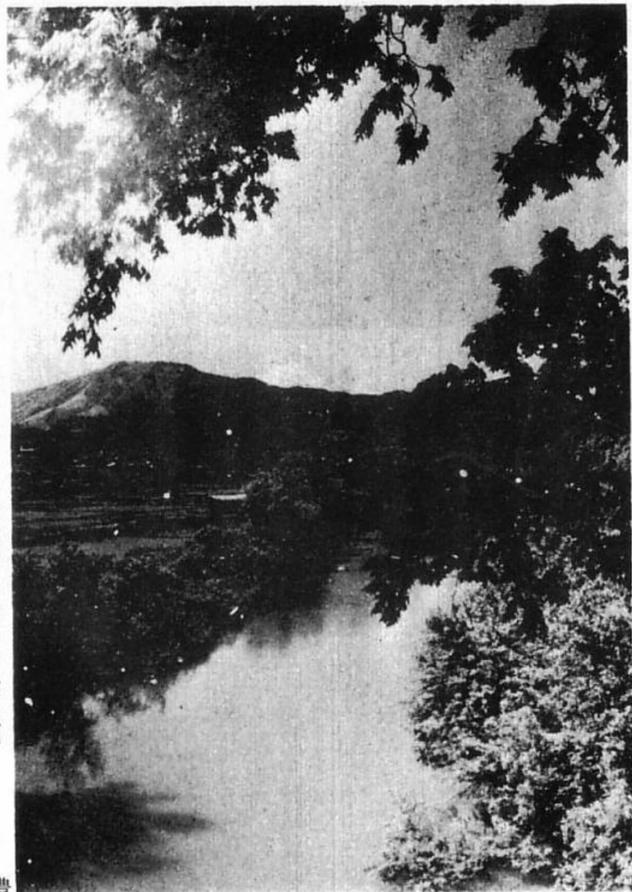
小野 昭一

恵まれた自然を高度に生活し、

住民参加の町政を

小松 豊

四月一日、日頃町制の第一歩を踏み出すに当たり、



【写真】寺田橋から八塩・鳥海山をのぞむ。

町制施行”この新たな歴史の出発に際し、町議会議員各位にそれぞれが描いておられる町づくりへの抱負の一端等を、自由な角度から二百字を標準にしてまとめていただきました。なお、残念ながらご寄稿いただけなかった方もあります。(掲載は議席番号の逆の順にしました。)

新町民”にのぞむ

町議会議員 長 沢 毅

生活向上はもとより、公益優先の大義を町民の皆様が十分ご理解の上、行政への絶大なご支援をお願いいたします。

町名に寄せて

高橋 重助

吾が東由利は、昭和三十年に下郷と玉村が合併した村で当時玉村村議会の末席に居り数多くの新村名の中の玉村に協力した。

住民参加の町政を

長谷山 二郎

町に必要なのは、直接的・間接的、物心両面のプラスは大きいと思っております。

住民と共に

藤原 虎之助

町制が施行されたのも国の財政措置は村と同様と言われますが、

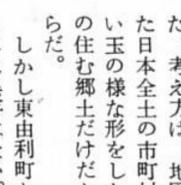
町政へわたしの抱負



長 沢 毅

経済の急激な成長は地域としての生活水準に著しい向上をもたらした。四月一日を期し町制を施行することができたことは、まことにめでたく、またうれいことである。

町制施行”この新たな歴史の出発に際し、町議会議員各位にそれぞれが描いておられる町づくりへの抱負の一端等を、自由な角度から二百字を標準にしてまとめていただきました。なお、残念ながらご寄稿いただけなかった方もあります。(掲載は議席番号の逆の順にしました。)



長 沢 毅

町制施行”この新たな歴史の出発に際し、町議会議員各位にそれぞれが描いておられる町づくりへの抱負の一端等を、自由な角度から二百字を標準にしてまとめていただきました。なお、残念ながらご寄稿いただけなかった方もあります。(掲載は議席番号の逆の順にしました。)

町制施行”この新たな歴史の出発に際し、町議会議員各位にそれぞれが描いておられる町づくりへの抱負の一端等を、自由な角度から二百字を標準にしてまとめていただきました。なお、残念ながらご寄稿いただけなかった方もあります。(掲載は議席番号の逆の順にしました。)

新町”の発足を祝す

秋田県知事 小畑勇二郎

このたびの町制施行にあたり一言お祝いを申し上げます。

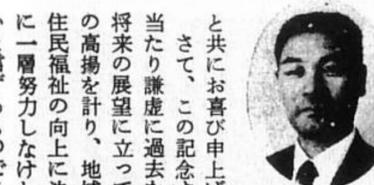


小畑 知事

東由利町は、昭和三十年の旧下郷村と玉米村の合併

によって、新しい村づくりを進められたのであります。二十年を待たずして町制を施行するまでに発展しました。これは皆様の絶えまざる努力の成果でありまして、永年のご苦労に深く敬意を表します。

当町は、現在、県が開発を進めている出羽丘陵地帯の中心的位置にあり、四百餘におよぶ県営は場整備事業も今年度から着手しますので、集落農林の推進に大きく貢献するものと期待しております。



小畑 知事

また、新町発足を契機に内部から盛り上げる力を結集し、当町のもつ恵まれた諸条件をあらゆる面で追究され住みよい町づくりに力強く取り組んでいただきます。

また、新町発足を契機に内部から盛り上げる力を結集し、当町のもつ恵まれた諸条件をあらゆる面で追究され住みよい町づくりに力強く取り組んでいただきます。

